

第一線で働くプロにクローズアップ! 気になるあの仕事について調べてみました。

シゴト図鑑 vol.37

バス運転手

通学、通院、買い物など、バスは生活に欠かせない大切な公共交通機関だ。日々のスケジュールを支える路線バス、観光などの利用が多い貸し切りバス、それぞれの運転手にやりがいなどを聞いた。



勉強法

乗車する2日ほど前から指示書を読み込む。分からない道は先輩に聞き、最適最短のルートを調べる。

魅力

初めて行くところも全く苦にならない。この道がどうあの道とつながっているのか、発見するのが好き。

気分転換

家族でバーベキューをすることも。休日はマイ七輪で干し魚や肉を焼きながら思う存分お酒をたしなむ。

大分交通別府営業所
バス運転手
浜松 教志 さん(40)
PROFILE/
青森県八戸市出身。高校卒業後、航空自衛隊に入り、2010年に退職。16年、妻の出身地である国東市に転居後、大分交通に入社した。中3を筆頭に6人の子供も、義理の両親や祖母ら11人の大家族で暮らす。

大分バス大分中央営業所
バス運転手
高橋 里奈 さん(44)
PROFILE/
大分市出身。大分桜丘高(現・楊志館高)商業科卒。会社勤務を経て結婚退職。32歳の時、運転好きが高じてタクシー運転手になった。10年後、念願だった大分バスの運転手に。夫と高2、高1の子供と4人暮らし。

勉強法

自動車専門誌でエンジンなどの仕組みを勉強。交通事故の事例を繰り返し読み、気を引き締めている。

使命感

お客さんを目的地まで無事に送り届ける「当たり前」が公共交通機関としての使命感だと考えている。

気分転換

自家用車を洗車機に通した後、車体や車内のダッシュボードなど、時間をかけて丁寧にワックスをかける。



ワタシたちがバス運転手になった理由。



Hamamatsu Takashi

高校は普通科に進学。公務員を目指し、航空自衛隊で事務職を勤めた。配属先は八戸の北、三沢基地。退職後の再就職を応援する制度を利用し、在職中に大型2種免許を取得した。職場の同僚と結婚。退職後、地元の観光貸し切りバス会社に就職した。平日は企業で働く従業員の送迎、土日は日帰りや宿泊を伴う旅行の運転手として6年間勤めた。
33歳の春、妻が退職したタイミングで国東市に転居。1カ月ほど妻の実家で漁の手伝いをして英気を養った後、前職での経験を生か

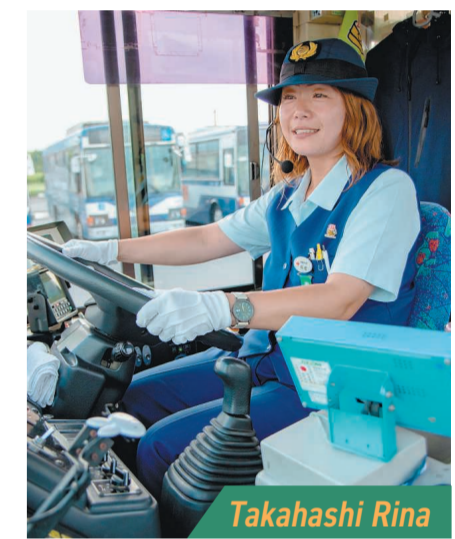
したいと大分交通に入社した。教育研修を受け、別府駅～立命館アジア太平洋大(APU)行きの路線バスを任された。主に国道を通るルートで道路事情に不安はなかったが「路線」は初めての経験だったため、バス停ごとに入れ替わる乗降客への対応など、戸惑うことも多かった。当時、通学の時間帯はぎゅうぎゅう詰め。学生の多くは立ったまま乗車するため、特に雨の日は転ばないように細心の注意を払った。
その後、高速バスに移って福岡や長崎の道を走り、昨年秋以降は

貸し切り専門に。運転手として順調にステップアップしてきた。九州の地理もままならない状態からわずか6年。技術に裏打ちされた安全運転に精神的な強さも備え、会社も信頼を寄せる。
まだまだ安定した運転ができないと反省することもある。しかし「うまいねー」「安全運転でありがとう」などと声をかけられるとうれしいし、もっと頑張ろうとも思う。九州の厳しい暑さの中、お客さんの思い作りの一役担うため、今日もハンドルを握る。

中学生の頃、青色のラインが入った大分バスの車体や白い手袋をはめた運転手がかっこよく、憧れた。しかし当時、運転手は「男性の仕事、だ」と思い、半ば諦めていた。21歳の時、オートマチック車限定で自動車免許を取得し、友人とのドライブ。楽しくて仕方がなかった。
子どもが幼稚園に入ったのを機に「運転する職業に就きたい」とタクシー会社に入り、2種免許を取得。3年半勤めた。女性ドライバーも3~4人いて、仕事も暮ら

しも充実していた。ただ、大分駅前のロータリーで待ちをしていたとき、大分バスがたくさん連なっている光景を目にするたび「自分もあの列に入りたい。バス運転手になりたい」という思いがより大きく、明確になった。
その後転職し、事務職の正社員を経て42歳の時、ハローワークで大分バスの求人票に「女性歓迎、の文言を見つけた。夢がかなう最後のチャンスと直感した。しかし、一度に何十人ものお客さんの命を預かる重責…。自分に務まるのか、

想像するだけで怖くなった。でも挑戦するなら今しかない。しなければ将来絶対後悔する。勇気を出して飛び込んだ。
大型免許はスムーズに取得できたが、社内での教育研修は約9カ月にも及び、体重が12kg落ちた。「運転手になりたい」という強い気持ちがあったからこそ頑張れた。
現在は路線バスを担当。「優しい運転ありがとう」「女性で良かった」などの感想やエンジンの重低音を聞くとテンションが上がります。きつければ楽しい毎日だ。



Takahashi Rina

活躍する分野

■ 路線バス

バス停ごとにお客さんを乗り降りさせながら、出発地点から終点まで決められたルートを、時刻表に沿って走行する。

■ 高速バス

自動車専用道路を使用し、主に都市と都市とを結ぶ。遠距離の都市とつなぐ場合は夜間に走行し、早朝に目的地に到着するようダイヤを組んでいることが多い。

■ 貸し切りバス

スポーツチームの遠征や町内会旅行、社員研修など、団体客を目的地まで運ぶ。日帰り、宿泊など、行程や目的に合わせてコースを設定できる。

■ スクールバス(送迎バス)

学校や幼稚園、工場や介護施設などを利用する人々を送迎する。運行時刻が決まっており、朝夕に集中することが多い。

バス運転手になるには…

「大型自動車第2種運転免許(大型2種免許)」を取得すること。

バスのほとんどは大型自動車に分類される。2種免許とはバスやタクシー、運転代行など「人を乗せて運び、運賃を受け取る」という、旅客運送のために必要な免許。
これまで大型や2種免許を取得するためには、21歳以上で普通免許取得後3年以上経過していないと受験資格がなかった。しかし今年5月、道路交通法の一部改正により「受験資格特例教習」を修了すれば、19歳以上かつ普通免許取得後1年以上で受験で

きるようになった。免許の取得条件緩和に伴い、最短で高校卒業後1年目で取得できるようになった。
各バス会社では運転手を目指す新卒者や未経験の中途者に向け、取得費用などを会社が負担する支援制度を導入。入社後、自社の教育担当による教育研修もしている。高校の新卒者の場合は受験資格を得るまで車両整備の基本を学んだり、営業所などでさまざまな問い合わせに対応したり、将来運転手の現場で生かせる接客の経験を積んでいる。

目指す人へアドバイス



大分バス大分中央営業所長
五嶋栄治郎 さん(52)

「バス」は地域で暮らす人々の「足」として身近で便利な存在です。運転手は交通ルールに従い、安全に気を配りつつ、定刻通りに目的地まで送り届けるという責任感や使命感がなくてはなりません。一方、サービス業でもあるため、親切丁寧な接客も求められます。
運転手を目指す人は新卒者もいますが、大半は20~50代までの転職組で、前職はトラックやタクシーの運転手だけでなく、畑違いの事務職などさまざまです。2種免許が必要ですが、ほとんどの方が免許取得支援制度を利用していま

バス運転手のシゴト

1. 運転



ルート上にあるバス停を、定刻に発車できるよう運転する。貸し切りバスは運行計画通りに走れるよう、ルート確認など事前準備も欠かせない。

2. 点検



毎日の乗務前と終了後にタイヤのパンクや部品に緩みがないかなど、異常がないかを確認する。不具合があれば整備係が対応する。

3. 接客や乗降のサポート



発車、停車やドアの開閉の際はアナウンスする。安全のため着席を促し、車いすの乗降ではスロープを出して対応することも。

4. 下車確認、忘れ物チェック



終点到着前には放送で案内し、寝過ごした客に声をかける。車内に忘れ物がないか確認し、あれば忘れ物係へ伝える。